



地域安全ニュース

くらま

No.388
発行所
今治地区防犯協会
今治警察署
☎34-0110
FAX31-7001

年末年始の地域安全運動

毎年、今治地区防犯協会では、各地区の防犯相談所長・少年警察協働員の皆様により年末防犯パトロールを依頼しています。

各地区内の金融機関やコンビニなどをパトロールしていただき、見せる防犯で年末の犯罪を未然に防止することを目的としています。



多額の現金取扱場所を狙った強盗



- ◎お店や事務所の自主防犯体制を強化しましょう。
- ◎常に店舗内外の警戒と不審者・不審車両の発見に努めましょう。

乗り物の盗難や車上狙い



- ◎ツーロックが基本です。
- ◎短時間の駐輪、駐車でも必ず鍵をかけましょう。
- ◎放置されている自転車を乗り回すと犯罪になります。

空き巣狙いなどの侵入盗



- ◎短時間の外出でもこまめに鍵をかけましょう。
- ◎留守と見抜がれない工夫をしましょう。

お年寄りや女性を狙ったひったくり



- ◎バックは車道と反対側に持ちましょう。
- ◎自転車のカゴには防犯ネットを利用しましょう。
- ◎人通りの少ないところは避けましょう。

冬山における山岳遭難の防止

- 自分の体力や技術にあった無理のない計画で余裕のある登山をしましょう。
- 季節や目的の山に合った服装・装備・食料を準備しましょう。
- 天候や体調など状況の急変時には冷静な判断をし、場合によっては撤退しましょう。
- 単独登山は自粛しましょう。過去の遭難事例でも、小さなトラブルが重大な事故につながっています。
- 下山に注意しましょう。道迷い・転倒・滑落事故など、圧倒的に下山中に発生しています。
- ゴミを持ち帰り、自然保護に努めましょう。



十分な準備・装備で安全な登山をしましょう!!

年末の交通安全県民運動

【期間】平成 20 年 12 月 21 日(日)～31日
スローガン:

年の瀬に ころろ行き交う 伊予の道

人や車の往来の激しいこの時期には、交通事故が多発します。スピードの出し過ぎや無理な追い越しなどはやめましょう。

◇高齢者の交通事故防止

高齢者のみなさんへ

- ・夜の外出の際は、明るい服装を心がけ、反射材を利用しましょう。

◇飲酒運転の根絶

- ・少しの飲酒でも絶対にハンドルを握らない。

◇全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

金融機関等に対する特別防犯指導 『CPP作戦』実施中

Crime …… 犯罪
Prevention …… 予防
Pointers …… 指摘



● 強盗模擬訓練の実施

強盗模擬訓練により、強盗事件発生時の対応の徹底を指導

● 立ち寄り警戒の強化

特に、コンビニ等に対する夜間立ち寄り警戒を強化

● コンビニエンスストアに対する防犯対策

- ・ 夜間勤務態勢の強化
- ・ レジ内に多額の現金を置かない等、確実な現金管理体制
- ・ 防犯設備の設置促進
- ・ 従業員に対する防犯指導の徹底等を指導



振り込め詐欺 防止キャンペーン

10月28日(火)に今治立花農協くみあいマーケット郷店において、立花交番連絡協議会と一緒に振り込め詐欺防止キャンペーンを実施しました。

最近では、ATMで振り込ませる手口だけでなく、郵便局の「EXPACK 500」を用い現金を郵送させたり、バイク便を用いる新たな手口も出てきています。

すぐに振り込まず事実確認を行い、相談しましょう。



無事故で明るい新年を!!

年末年始は、何かと気ぜわしくなり、季節の行事や行楽、買い物等で多くの人出があります。



雑踏での事故にあわないように、主催者や関係者等の広報や誘導に従って安全に行動しましょう。

初詣の事故防止

地元の馴染みの神社や仏閣だからといって安心していませんか？初詣は、夜中から参拝者が集まってきます。

- ◎ 足下が暗い。
- ◎ 着物を着ていて素早く動けない。
- ◎ お酒を飲み過ぎた。
- ◎ 階段や坂道がある。

など、多くの危険が潜んでいます。

お子さんや高齢者の歩みに合わせて、順路に従い、ゆっくりと歩きましょう。



こころの芽

被害少年サポーター
柳原 丈廣

『お父さんの誠の力』

「主人は『子どものことは、お前に任せている』と言って何もしてくれません」と言うお母さんの言葉をよく聞きます。確かに父親は子どもに接する時間は少ないでしょう。でも、いざというときには父親が威厳のある態度で向き合うことが大切ではないでしょうか。

昔から「地震、雷、火事、親父」と言いますが、この中で「親父」だけは怖くなくなっています。また怖いだけでは今の子どもには通じません。権力や権威ではなく、『親父はすごい!』と思う生き方、考え方が大切だと思います。子どもの将来を見据えた考えを持って子どもに向き合い語りかけてください。